

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学部	中学部		学年	1年		
教科等名	国語		グループ名	B組		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。 					
担当教員	○桐山 知行 松永 和也 佐野 堅太 大出 彩乃					
年間授業時数	35					
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	言葉で伝えよう、友達の話を聞こう ・休みの日の出来事を発表しよう ・感想や意見を伝えよう	通年		<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験を発表する。 行事や授業の目標や反省、感想を発表する。 友達の発表を集中して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音や声の大きさに気を付けて話している。 経験したことについて、内容の大体が伝わるように伝える順序などを考えている。 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の使い方や正しい姿勢を意識する。 発表の項目に沿って行う。 質問を受け付けたり発表終了後は全員で拍手をしたりして自己肯定感を高める。
通年	文字を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう ・文章を読もう	通年		<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名、漢字を練習する。 自分の名前前の練習をする。 身の周りで使われる熟語を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧になぞり書きすることができる。 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 日常生活で必要な語句や文章などを読み、内容の大体を捉えている。 すすんで練習課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい筆記用具の持ち方を確認する。 なぞり書き⇒視写(見本を近く⇒遠くに)⇒白紙と、段階を工夫する。 個別の課題に沿ったワークシートで行う。
4 5 6 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞 ・助詞 ・形容詞 ・丁寧な言葉	21		<ul style="list-style-type: none"> 様々な言葉や表現を覚える。 挨拶や丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉の正しい使い方を理解できる。 相手や目的に応じた話し方で話している。 日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。 見本を示したり、その場に応じて言葉掛けを行ったりする。 写真や映像などを使用して、視覚的に分かりやすくする。
7 9 1 2 3	読書をしよう	14	○	<ul style="list-style-type: none"> 図書室から借りてきた本を、一定時間集中して読む。 タブレット端末を活用して、読み聞かせを聞いたり見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知る。 本を読んだり、読み聞かせなどを通して、出来事などの話の大体を捉えることができる。 読書の楽しさを知り、積極的に読書をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書をする環境を整える。 図書室の使い方について、視覚的に提示する。 実態に応じて、絵本を読む。 タブレット端末の読み聞かせ動画も活用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

番号 **25**

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学部	中学部		学年	1年		
教科等名	国語		グループ名	C組		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす 筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。 					
担当教員	○三橋 淳輝 松永 和也 佐野 堅太 大出 彩乃					
年間授業時数	35					
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	言葉で伝えよう、友達の話を聞こう ・休みの日の出来事を発表しよう ・感想や意見を伝えよう			<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験を発表する。 行事や授業の目標と、反省、感想を発表する。 友達の発表を集中して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音や声の大きさに気を付けて話している。 経験したことについて、内容の大体が伝わるように伝える順序などを考えている。 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の使い方と正しい姿勢を意識する。 発表の項目に沿って行う。 質問を受け付けたり、発表終了後は全員で拍手をしたりするなど自己肯定感を高める。
通年	文字を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう ・文章を読もう	通年	○	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名、漢字を練習する。 自分の名前前の練習をする。 身の周りで使われる熟語を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。 語のまとまりに気を付けて、音読することができる。 すすんで練習課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい筆記用具の持ち方を確認する。 自分で書いた文章を、友達に伝わるように読むことができるようにする。 個別の課題に沿ったワークシートで行う。 タブレット端末のアプリ学習を行う。
4 5 6 10 11 2	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞 ・助詞 ・形容詞 ・丁寧な言葉	21	○	<ul style="list-style-type: none"> 様々な言葉や表現を覚える。 挨拶や丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉の正しい使い方を理解できる。 相手に伝わるような話し方で話している。 日常的に必要な語句や文章などを読み、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。 タブレット端末のアプリ学習を行う。
7 9 1 2 3	読書をしよう	14	○	<ul style="list-style-type: none"> 図書室から借りてきた本を、一定時間集中して読む。 タブレット端末を活用して、読み聞かせを聞いたり見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知る。 本を読んだり、読み聞かせなどを通して、時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。 読書の楽しさを知り、積極的に読書をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書をする環境を整える。 図書室の使い方について、視覚的に提示する。 実態に応じて、絵本を読む。 タブレット端末の読み聞かせ動画も活用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学部	中学部		学年	1年		
教科等名	国語(学級)		グループ名	D組		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。 					
担当教員	○鷲尾 圭介 松永 和也 大出 彩乃 佐野 聖太					
年間授業時数	35					
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	言葉で伝えよう、友達の話を聞こう ・休みの日の出来事を発表しよう ・感想や意見を伝えよう	通年		<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験を発表する。 行事や授業の目標や反省、感想を発表する。 友達の発表を集中して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音や声の大きさに気を付けて話している。 経験したことについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えている。 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の使い方や正しい姿勢を意識する。 発表の項目に沿って行う。 質問を受け付けたり、発表終了後は全員で拍手をして自己肯定感を高める。
通年	文字を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう ・文章を読もう	通年		<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名、漢字を練習する。 自分の名前前の練習をする。 身の周りで使われる熟語を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧になぞり書きすることができる。 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 日常生活に必要な語句や文章などを読み、内容の大体を捉えている。 進んで練習課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい筆記用具の持ち方を確認する。 なぞり書き⇒視写(手本を近くに→遠くに)⇒白紙、と、段階を工夫する。 個別の課題に沿ったワークシートで行う。
4 5 6 7 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞 ・助詞 ・形容詞 ・丁寧な言葉	21		<ul style="list-style-type: none"> 様々な言葉や表現を覚える。 挨拶や丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉の正しい使い方を理解できる。 相手や目的に応じた話し方で話している。 日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。 場面設定をして、正しい話し方を反復練習する。
7 9 1 2 3	読書をしよう	14	○	<ul style="list-style-type: none"> 図書室から借りてきた本を一定時間集中して読む。 タブレット端末を活用して読み聞かせを聞いたり見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知る。 本を読んだり、読み聞かせなどを通して、出来事などの話の大体を捉えることができる。 読書の楽しさを知り、積極的に読書しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書をする環境を整える。 図書室の使い方について視覚的に提示する。 実態に応じて、絵本を読む。 タブレット端末の読み聞かせ動画も活用する。

※感染症対策により、学習内容の一部を変更する場合があります。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年		
教科等名	国語		グループ名	E組		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。 					
担当教員	○金子 蓮菜 松永 和也 大出 綾乃 佐野 聖太					
年間授業時数	35					
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	言葉で伝えよう、友達の話を聞こう ・休みの日の出来事を発表しよう ・感想や意見を伝えよう	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験を発表する。 ・行事や授業の目標や反省、感想を発表する。 ・友達の発表を集中して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音や声の大きさに気を付けて話している。 ・経験したことについて、内容の大体が伝わるように伝える順序などを考えている。 ・相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の使い方や正しい姿勢を意識する。 ・発表の項目に沿って行う。 ・質問を受け付けたり、発表終了後は全員で拍手をしたりして自己肯定感を高める。
通年	文字を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう ・文章を読もう	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名、片仮名、漢字を練習する。 ・自分の名前前の練習をする。 ・身の周りで使われる熟語を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧になぞり書きすることができる。 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 ・日常生活に必要な語句や文章などを読み、内容の大体を捉えている。 ・すすんで練習課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい筆記用具の持ち方を確認する。 ・なぞり書き⇒視写(見本を近くに→遠くに)⇒白紙と、段階を工夫する。 ・個別の課題に沿ったワークシートで行う。
4 5 6 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞 ・助詞 ・形容詞 ・丁寧な言葉	21		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な言葉や表現を覚える。 ・挨拶や丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉の正しい使い方を理解できる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。 ・場面設定をして、正しい話し方を反復練習する。
7 9 1 2 3	読書をしよう	14	○	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室から借りてきた本を、一定時間集中して読む。 ・タブレット端末を活用して、読み聞かせを聞いたり見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知る。 ・本を読んだり、読み聞かせなどを通して、出来事などの話の大体を捉えることができる。 ・読書の楽しさを知り、積極的に読書をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をする環境を整える。 ・図書室の使い方について、視覚的に提示する。 ・実態に応じて、絵本を読む。 ・タブレット端末の読み聞かせ動画も活用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。